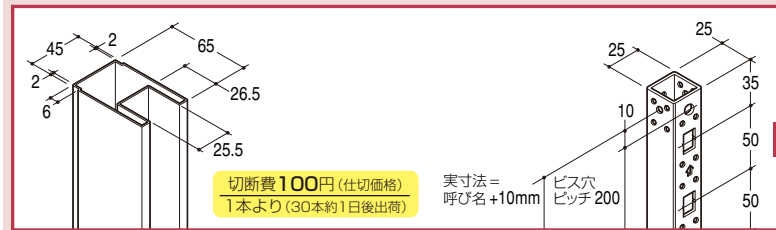


- 市販スタッドを左右に立設する
- 矯正パーツで矯正する (但し、化粧パネルを貼るなど、パテ埋め施工されない場合は不要です)
- ペルラロジーパネルを取り付ける

柱部材



BE-ST-1 ペルラスタッド	
サイズ	表面処理鋼板
3000mm	¥5400
4000mm	¥7150
材質	厚み
表面処理鋼板	t=0.8mm

BE-SP-25/25 ペルラサポート			
呼び名	ユニクロ	ビス穴数	シャフト着脱穴数
600	¥1750	3	12
900	¥2550	5	18
1200	¥3300	6	24
1500	¥4150	8	30
1800	¥5000	9	36
2400	¥7200	12	48

タッピング NT-P	
ユニクロ	クローム
¥600	¥820

ペルラサポート横止め用 BT-P (1パック50本品番)	
サイズ	クローム
40mm	¥820

シャフト16φ・19φ用のパーツ

材質 ABS樹脂

呼び名	グレー樹脂	下穴径	16φ	19φ	25φ	19/19
19	¥130	28mm	○	○	×	×

※ペルラベースホイールは施工上必ず必要です。

FMP (90m巻)	
呼び名(巾)	仕切価格
35mm	1100円
50mm	1300円

ベースホイールを選択される前に、ご使用されるシャフト径を必ず先に決定してください。

○…使用に適している ×…使用は不可能
△…使用は可能だが、シャフトとホイールの間に隙間が生じる

シャフト25φ・19φ用のパーツ

材質 ABS樹脂

呼び名	グレー樹脂	下穴径	16φ	19φ	25φ	19/19
25	¥140	34mm	△	△	○	×
1919	¥140	34mm	△	△	×	○

※ペルラベースホイールは施工上必ず必要です。

FMP (90m巻)	
呼び名(巾)	仕切価格
35mm	1100円
50mm	1300円

ベースホイールを選択される前に、ご使用されるシャフト径を必ず先に決定してください。

○…使用に適している ×…使用は不可能
△…使用は可能だが、シャフトとホイールの間に隙間が生じる

オプション

切断費100円(仕切価格)
1本より(30本約1日後出荷)

RUN-65 ランナー65	
サイズ	表面処理鋼板
3000mm	¥2750
材質	厚み
表面処理鋼板	t=0.8mm

※200mm間隔に1個を目安に取り付けてください。

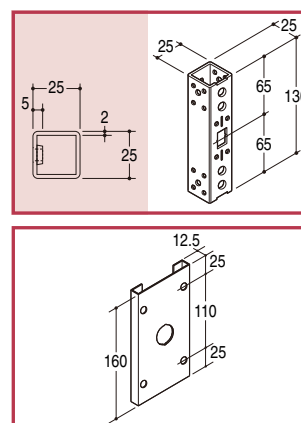
BE-SK ペルラスタッド矯正パーツ	
ステンレス	¥170
材質	厚み
ステンレス	t=0.5mm

45mm側に取り付け事も可能です

※200mm間隔に取り付けてください。

BE-JG ペルラサポート横止め用捨て用具	
グレー樹脂	¥95
材質	厚み
ABS樹脂	t=2.0mm

ポイント仕様用パーツ



BE-PS ペルラポイントサポート	
ユニクロ	ビス穴数
¥400	4
材質	厚み
スチール	t=2.0mm
必要タッピング	注意
NT	上下方向有り

BE-PP ペルラポイントパネル		
呼び名	紙貼鋼板	対応ベースホイール(BE-BW-S)
19	¥550	呼び名 19
25	¥550	呼び名 25・1919
材質	厚み	必要タッピング
紙貼り鋼板	t=1.0mm	NT
注意	有効寸法減少	

- 施工上の注意** 下地材の立設は垂直を出し、横間隔(スパンピッチ)も正確に出してください。正確でない場合、棚のガタ付きや移動困難の原因となります。
- 施工上の注意** ペルラサポートを取り付ける下地材はランナーに上下裏表ともしっかり固定してください。施工後にぐら付くと壁面の亀裂破損の原因となる恐れがあります。
- 施工上の注意** 柱の取り付け施工は上下を間違えず、水平・平行を正確に出して行ってください。精度が低い場合、棚などの可動困難やガタつき、不確実装着による突然落下の恐れがあります。
- 施工上の注意** タッピングビスは下地材に適合した製品をお選びください。(特に弊社製ドリル付きタッピングは弊社製スタッド専用です。市販スタッドへの使用は肉厚が薄すぎるため危険です)

- 施工上の注意** ペルラサポートは上下があります。方向を間違わず矢印が上になる様正しく取り付けてください。(逆に取付けるとシャフトが前垂れます)
- 施工上の注意** シャフト着脱させる位置に、ペルラベースホイールSを装着してください。(その際、使用を予定されているシャフト径に適したベースホイールを、必ず選択してください)
- 施工上の注意** タッピングビスは適正工具・適正トルクで正しく取り付けてください。過剰トルクではビス頭部弱体化による耐荷重低下やドライバー溝破損による取り付け失敗の恐れがあります。
- 施工上の注意** まひき ビス穴は間引いたりせず全てビスもみしてください。間引いた場合耐荷重が悪く、低下、及び壁面ゆがみの原因となります。